

ウイングネットで学習する生徒たち



集団と個別のハイブリッド学習システムで、 未来をつくる子どもたちの成長を応援 高校生には「ウイングネット」を活用

株式会社 花咲スクール

埼玉県加須市

大坪 智幸 代表取締役



大坪智幸 代表

グループ指導とICT個別学習のハイブリッド学習システムで学習指導をしている花咲スクール。塾として生徒の成績を上げるのは極めて当然のことだと考える大坪智幸代表は、つねにプラスアルファの価値を保護者と生徒に提供しようと心がけている。そんな花咲スクールが高校生のために導入したのは「ウイングネット」。同スクールの特長や「ウイングネット」の活用の仕方、今後の展望などについて、大坪代表に話を伺った。

1つの教室で1年に中学生の生徒を50名増やす

大坪代表が今の花咲スクールに関わるようになったのは、ある塾の教室の立て直しを任されることになった2015年3月のことだという。

「具体的な数値を示され、その達成が目標だったのですが、その年の夏期講習明けにはすでに達成できました」と、涼しい顔で語る大坪代表。指導対象は小学生・中学生・高校生だが、メインはやはり中学生。その中学生を1年間で50名も増やすことができたというのだから、驚きだ。

現在34歳の大坪代表は、いわゆる就職氷河期の世代。子どもの頃は塾に通い、大学生のときには通っていた塾でアルバイト講師をしていた。教育職に惹かれ、そのままその塾に就職しようと思ったが、分裂騒動が起きたので、いったんは郵便局に就職。その後新車販売の営業、オルタナティブスクールの教師、再び学習塾の講師など、教育事業とは縁が深いとはいえ、他の様々な仕事も体験してきたという。さらにその間リーマンショックもあり、自らも重い肺炎にかかって生死をさまようなど、壮絶な体験を積んできた。



生徒たちがくつろげる休憩室

「特に思春期のお子さんの場合、大人を含めて3者で協力して学習に取り組まないと、絶対に成績は上がりません」と、大坪代表はきっぱりと語る。

やがて生徒の学習姿勢に変化が見られ、成績が上がってくると、保護者

者の紹介や口コミで

入塾してくる生徒が増えたのだという。

「教室の問題点を一つひとつ妥協せずに解決していったことが集客につながったと思っています。生徒を紹介してくださった保護者様には本当に感謝しております」

花咲スクールの指導の大きな特長は、個別指導（個々のペース・深度）と集団指導（緊張感・ライバル心・スピード・他と自己の対比）の長所を活かし、グループ指導とICT個別学習を行うハイブリッド学習システムを採用していることだ。

中学生の授業スタイルは、1コマ目は、定期テストから逆算して作られたオリジナルのカリキュラムにより、1日で学習すべき単元を集団形式で授業を受ける。2コマ目は、1コマ目で分かるようになった単元を個々のペース・進度で繰り返し演習し、できるようになって授業完了。よく分かった上に見えるようになるので、学習意欲、やる気を育むことができるという。

その花咲スクールは、高校生の指導には「ウイングネット」を活用している。導入して約1

年半。きっかけは高2の生徒から「先生、頼むから高3まで面倒見てよ」と言われたこと。「大学受験となると、ここから離れた久喜・春日部・大宮の大手予備校に通う子が多かったのですが、この教室で大学受験にも対応できるようにしてあげたいと思いました」

た上で導入を決めたという。コンテンツ探しに1年を費やすあたりにも実に慎重で、決して妥協しない。「ウイングネットはとても素晴らしいコンテンツだと感じました。第一線で活躍なさっている先生方ですから日々研究もされていますし、まさに授業に徹したプロです。また、フランチアーズではないことも私には大きな魅力でした」

もいただいております」と、大坪代表は笑顔で語る。ウイングネットを活用するときに、塾や受講生によって予習に使ったり復習に使ったりするが、花咲スクールでは予習型。「ウイングネットで予習しておく、学校の授業がすんなり理解できると生徒たちは言います。まずは生徒たちと一緒に走ってみて、一緒に考えながら1年かけて形になってきたという感じです」



荒井万里奈氏（左）と一緒に

「中にはどうしてもライブ授業でなければ嫌だと言う生徒もいますから、そういう生徒には無理に勧めません。でも実際に映像授業を受けてみると、ほとんどの生徒からはとてもわかりやすいと評判です。また、高校生になってもそのまま通えるのが嬉しいという声

「今までは内部生がメインでしたが、今後は自塾以外の、遠くの子備校に行かざるを得ない高校生にも通っていただきたいと思っています」

「子どもたちの成長を願う、妥協しない指導の裏には、熱い思いが」

大坪代表は、「今後の大学入試が具体的にどうなっていくのかわからない中、まずは学

「とにかく学習塾は、生徒の成績を上げるのは当たり前のこと。保護者様からいただいている1円のお金も無駄にはいけません。プラスアルファの部分で、無力者層をつくり出さないのが私たちの使命だと考えています。子どもたちの精神を鍛え、今後は塾の部分も担っていきたいと思います」

「一見厳しい先生のようにも見えるが、大坪代表は休み時間には廊下で生徒と相撲をとったり雑談をしたり、卒業パーティーのときには食事を振るまい、自らのバンド演奏を披露するなど、生徒たちを楽しませることに余念がない。

「私たちがスタッフにも厳しいのですが、それが心底生徒さんのことを思っていることであるのがよくわかりますので、私も大坪先生のようにになりたいと思っています」と、本部長副教室長（執行役員）の荒井万里奈氏は言う。

校の定期テストで高得点を取り、評定をしっかりとキープしておいて、どっちに転んでもいいようにしておきなさい」と高校生にいつも言っているという。

ウイングネットの詳細をお知りになりたい方は、次頁をご覧ください。



●株式会社 ウイングネット
〒113-0033 東京都文京区本郷5-25-14
TEL.03-3818-8454 wingnet@ichishin.co.jp

高校入試の説明をする大坪代表

